

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2018年度(財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

- (1) 練習は、プログラム記載の指定された会場で、「練習会場使用日程」に従い実施すること。
- (2) 練習は、原則顧問の付き添いのもと安全に留意し事故防止に努めること。

3 招集について

- (1) 招集所は100mスタート側スタンド下に設置する。
- (2) 招集開始時刻(点呼開始時刻)及び招集完了時刻(移動開始時刻)は、競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

| | | | | | | | | | |
|--------------|-------|--|------|-----|---|------|--------------------------------|-----------------|------|
| トラック 競 技 | 種 目 | 100m 100mH 200m 110mH 400m 400mH 800m 4×100mR | | 種 目 | 1500m 3000m 2000mSC 3000mSC 4×400mR | | 種 目 | 5000m 5000mW | |
| | 組 | 開始 | 完了 | 組 | 開始 | 完了 | 組 | 開始 | 完了 |
| | 1～5 | 30分前 | 15分前 | 1～3 | 30分前 | 15分前 | 1 | 30分前 | 15分前 |
| | 6～10 | 15分前 | 0分前 | 4～ | 15分前 | 0分前 | 2 | 15分前 | 0分前 |
| | 11～15 | 0分過 | 15分過 | * | * | * | 3 | 0分前 | 15分過 |
| 16～ | 15分過 | 30分過 | * | * | * | * | * | * | |
| フィールド 競 技 | 種 別 | 跳 躍 | | 種 別 | 棒 高 跳 | | 種 別 | 投 て き | |
| | | 開始 | 完了 | | 開始 | 完了 | | 開始 | 完了 |
| | 予 | 55分前 | 45分前 | 決 | 60分前 | 50分前 | 男砲丸決 円盤決 やり決 女やり決 | 65分前 | 50分前 |
| | 決 | 40分前 | 30分前 | | | | 男ハンマー決 女砲丸決 円盤決 ハンマー決 | 40分前 | 30分前 |

混成競技における招集は、第1日目、第2日目ともに第1競技種目については、上記招集時刻に招集所で行う。第2競技種目からは、上記招集時刻に混成控室で行い、当該競技役員の指示で入場する。混成控室は陸上競技場メインスタンド下に設ける。

(3) 招集の方法

- ① 競技者は招集開始時刻(点呼開始時刻)には集合し、係員による点呼を受ける。その際、ユニフォームを着用し、ナンバーカード、競技用シューズ(スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投げは12mm以内。)商標および競技区域内への持込物品などについて確認を受ける。なお、携帯電話などの通信機器は競技区域内に持ち込んではいない。持ち込んだ場合は失格とする場合がある。
- ② 点呼終了後、招集完了時刻(移動開始時刻)に係員の指示誘導で競技場内へ移動する。
- ③ 同時刻帯に2種目を兼ねて出場する競技者は、予めその旨を本人または代理人が「多種目同時出場届」(用紙は招集所に準備)に記入し、招集開始時刻までに招集所の競技者係に提出する。競技については担当競技役員に申し出て指示に従うこと。
- ④ 代理人による最終点呼は認めない。
- ⑤ 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

(4) 招集の留意事項

- ① 出場すべき競技種目を棄権する場合は、「欠場届」(用紙は招集所に準備)に顧問または監督が記入し、招集開始時刻までに招集所の競技者係に提出すること。

- ②招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権するものとして処理する。
- ③リレー競技に出場するチームは、所定の「オーダー用紙」に必要事項を記入し、当該種目1組目の招集完了時刻1時間前までに、招集所の競技者係に提出する。また、準決勝・決勝においてオーダーの変更がない場合もオーダー用紙を再度提出する。
- ④招集に関する提出書類は次のとおりである。なお、トラック競技の予選で招集時刻が2種類以上あるものについては、1組目の招集時刻を基準として提出時刻とする。

| 書類の種類 | 準備場所 | 提出場所 | 提出時刻 |
|-----------|-------|---------|------------|
| 欠場届 | 招 集 所 | 招集所競技者係 | 招集開始時刻 |
| 多種目同時出場届 | 招 集 所 | 招集所競技者係 | 招集開始時刻 |
| リレーオーダー用紙 | 招 集 所 | 招集所競技者係 | 招集完了時刻1時間前 |

4 ナンバーカードについて

(1) 胸部及び背部のナンバーカードについて

- ①競技者は、プログラムに記載されたナンバーと同じナンバーカードを配布された大きさとユニフォームの胸部と背部につける。
- ②跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部の一方でよい。

(2) 腰ナンバーカードについて

- ①トラック競技に出場する競技者(4×100m Rは第4走者のみ)は、配布された腰ナンバーカードをパンツの右やや後方につけること。
- ②4×400m Rの第2～4走者は、配布された腰ナンバーカードをパンツの左右やや後方につけること。
- ③腰ナンバーカードは、主催者が準備し招集所で配布する。競技終了後、ゴール地点でゴミ箱に入れること。

(3) 特別ナンバーカードについて

- ①2000m以上の競技については、招集所で配布される周回確認用の特別ナンバーカードを胸部に使用する(背部はプログラム記載のナンバーカード)。
- ②4×400m Rの第2～第4走者は、招集所で配布される特別ナンバーカードを胸部に使用する(背部はプログラム記載のナンバーカード)。
- ③混成競技の最終種目では、総合順位の順に特別ナンバーカードを胸部に使用する(背部はプログラム記載のナンバーカード)。
- ④特別ナンバーカードは主催者が準備し招集所で配布する(混成競技は混成競技控え室で競技役員より配布)。なお、招集所での点呼の際は、正規ナンバーカードは着用せずに持参し、招集所で配布される特別ナンバーカードを着用すること。特別ナンバーカードは競技終了後、ゴール地点で回収する。

5 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入場は、すべて係員の指示誘導による。
- (2) トラック競技の競技者の退場は、フィニッシュラインに到着後、ゴール側ゲートから退場する。ただし、4×100m Rの最終走者以外は、歩いてスタート地点に戻り、最寄りのゲートより退場する。
- (3) フィールド競技の競技者の退場は、係員の指示誘導による。
- (4) トラック及びフィールド競技とも、入賞者(1～6位)は、競技終了後直ちに入賞者控席に移動し待機すること。なお、本部前は通行禁止とする。

6 番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技の走路順、並びに決勝におけるフィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で示す。
- (2) トラック競技において、予選以降における組み合わせ及び走路順は、主催者が公平に抽選して決定し、決定次第招集所の掲示板に掲示して発表する。
- (3) タイムにより次のラウンドの出場者を決めるときに予定された人数を上回って同記録者がでたときは、規則167条に従い判定する。
 - ①400mまでの競走とリレー競技については、写真判定の拡大写真を細部(1/1000)まで読み取り着差の判定をし、それでも同記録の場合は抽選とする。

- ②800m以上の競走においては、写真判定の拡大写真を細部(1/1000)まで読み取り着差の判定をし、それでも同記録の場合は、全員次のラウンドに進める。
- (a) 800mで最終枠に同記録者が出た場合、8人目以降の競技者に関するレーンは以下の通りとする。最終枠の同記録者で抽選を行う。同記録者が2人のとき、9人目の選手が入るレーンは8レーンとする。その場合、外側2レーン中位グループで抽選を行う。同記録者が3人の場合、10人目の選手が入るレーンは2レーンとし、内側2レーンは下位グループで抽選を行う。

7 競技について

本大会は、下記の主な留意事項に基づいて運営する。

- (1)トラックおよびフィールド内には、その競技を行う競技者並びに役員(審判および該当補助員)以外は立ち入ることはできない。
- (2)競技中の助力については、規則第144条に基づくものとする。ただし、競技区域内での助力は禁止とするが、スタンドからの助言については、競技運営並びに他の競技者の妨げにならない範囲で、コーチングエリア内に限って認めるものとする。
- (3)競技者は、当該競技場を勝手に離れることはできない。また、ビデオカメラ・オーディオプレーヤー・トランシーバー・携帯電話もしくは類似した機器を競技区域内に持ち込むことはできない。
- (4)トラック競技について
- ①トラック競技では、写真判定装置(1/100秒)を使用する。
- ②競技規則162条7により、混成競技を除き、不正スタートをした競技者は1回で失格となる。混成競技では、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、すべて失格となる。
- ③スタートについて(本競技会における第165条5の取り扱い)
- 「On your marks」あるいは「Set」の合図の後
- (a)合図の後で正当な理由もなく手を挙げたり、立ち上がった場合
- (b)合図に従わない、遅れることなく速やかに最終の用意の位置につかない
- (c)合図後、大きな音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したとき
- これらの不適切行為を行ったときには警告対象としてイエローカードを提示することがある。2枚のイエローカードの提示を受けた競技者は当該種目のみ失格とする。また、「Set」後タイミングを遅らせて腰を上げる、体が静止しなかった(ピクッと動く、腰のふらつきなど)場合には注意にとどめるが繰り返し行われたときはイエローカードを提示することがある。このときも2枚のイエローカードで当該種目は失格とする。
- ④セパレートレーンで行うトラック競技における欠場者のレーンはそのままあけておく。
- ⑤セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者は安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走って終了する。
- ⑥リレー競技におけるメンバーの編成は、どのラウンドにおいてもリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる(オープン種目のみのエントリー者は除く)。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人は当該リレー種目に申し込んだ競技者でなければならない。予選に出場したメンバーはその後のラウンドを通して、2人以内に限り他の競技者と交代することができる。
- ⑦リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用しなければならない。
- ⑧4×100m Rで使用するマーカー(粘着テープ)は各校で用意し、各走者1カ所使用することができる。レース終了後、チームで使用したマーカーは、責任を持って取り除くこと。
- ⑨4×400m Rにおける第3・第4走者は審判員の指示に従い、前走者が200mスタート地点(黄旗)を通過した順序で、内側より並び待機する。その後、この順序を変えてはならない。
- ⑩競歩競技において制限時間を設ける。男子35分、女子40分を経過後、1周以上残っているときは失格とする。ただし、競技の進行状況によっては、その限りではない。
- (5)フィールド競技について
- ①フィールド競技の公式練習は2回とし、競技場競技区域内での練習は審判員の指示により行う。
- ②走高跳を除く跳躍種目およびやり投げの競技者は、助走路の外側に主催者の用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、走高跳競技に出場する競技者は、助走路内に各自が用意したマーカー(粘着テープ)を2個まで置くことができる。
- ③三段跳の踏切板から砂場までの距離は男子11m・女子9mとする。ただし、天候やその他の条件によって変更する場合もある。

④棒高跳競技に出場する競技者は、支柱を自分の希望する位置に移動してもよい。競技場移動後、競技開始前に当該審判員に申し出ること。また、競技開始後に申し出た支柱の位置を再変更する場合は、支柱がセットされる前に当該審判員に申し出る。

⑤投てき競技の計測は、光波測定器を使用する。ただし、砲丸投についてはメジャー計測とする。

(6) 混成競技について

①1種目でもスタートをしなかったか、また1回も試技をしなかったときは、それ以降の種目に参加することは許されず、競技を棄権したものとみなされる。

②混成競技の最終種目については、それまでの総合得点の高い方から順に1番からの特別ナンバーカードを配付し、1レーンから順に入るものとする。

8 競技用具について

(1) 競技者が本大会で使用する器具は、棒高跳競技のポールを除いては、全て主催者の用意したものを使用すること。ただし、投てき用具については、主催者が用意した投てきリストとして記載されていない場合、借り上げるものとする。

(2) 借り上げる投てき器具の検定は、招集開始時刻の20分前に器具庫前（ゴール側スタンド下）で行う。検定に合格した用具は一括借り上げし、大会用投てき器具として取り扱う。借り上げた投てき器具は、大会用投てき器具として取り扱う。

(3) 借り上げた投てき器具の返却は、競技終了後に器具庫前（ゴール側スタンド下）で返却する。

(4) 競技者個人の器具は、借り上げた投てき器具以外練習用といえども競技区域内に持ち込んではいない。

(5) 棒高跳競技における各競技者のポールの検査は競技開始前に跳躍場所において競技役員が行う。

9 バーの上げ方について

(1) 走高跳および棒高跳競技におけるバーの上げ方は、最後の一人になる場合を除き、次のとおりとする。

①下記のバーの上げ方を、天候その他の条件によって変更する場合は当該審判長が決定する。

②第1位に同順位者が出た場合の、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳では5cm単位とする。

③東北大会出場者決定のためのバーの上げ下げは、②と同様にする。

④練習は、競技者がいずれか一方の高さを選択して、審判員の指導のもとに行う。

| 種目 | 性別 | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 以降 |
|-----|----|-----------|------|------|------|------|------|------|--------|
| 走高跳 | 男子 | 1m65：1m75 | 1m70 | 1m75 | 1m80 | 1m85 | 1m88 | 1m91 | 3cm刻み |
| 棒高跳 | | 2m70：4m00 | 2m80 | 2m90 | 3m00 | 3m10 | 3m20 | 3m30 | 10cm刻み |
| 走高跳 | 女子 | 1m35：1m51 | 1m40 | 1m45 | 1m48 | 1m51 | 1m54 | 1m57 | 3cm刻み |
| 棒高跳 | | 2m00：2m80 | 2m10 | 2m20 | 2m30 | 2m40 | 2m50 | 2m60 | 10cm刻み |

(2) 混成競技の走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。

①下記のバーの上げ方を、天候その他の条件によって変更する場合は当該審判長が決定する。

| 性別 | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 以降 |
|----|-----------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 男子 | 1m35：1m50 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m60 | 1m63 | 1m66 | 3cm刻み |
| 女子 | 1m15：1m30 | 1m20 | 1m25 | 1m35 | 1m40 | 1m43 | 1m46 | 1m49 | 3cm刻み |

10 抗議について

(1) 競技の結果または行為に関する抗議は、規則146条に基づき、正式通告後30分以内に、また、次のラウンドが行われる競技種目では、その結果が正式に通告されてから15分以内に、競技者自身または代理人（顧問）が、担当総務を通じて審判長に対して口頭で申し出る。

(2) 口頭での抗議に対する裁定に不服の場合は、その競技者に代わる責任者（顧問）が、文書と預託金10,000円を添えて本大会総務へ正式な上訴の手続きをとる。尚、この預託金は抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

11 競技者の競技場内への持ち込み物品について

競技者は競技場内（練習場も含む）に、企業名、商標名等のついた物品を持ち込む場合には、規定にあったもの以外持ち込んではいない。競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

12 得点の配点及び合計得点が同点時の順位決定について

- (1) 各競技種目の配点は、1位6点 2位5点 3位4点 4位3点 5位2点 6位1点とする。
- (2) 合計得点が同点になった場合の総合順位決定は、上位入賞競技種目の多い方を上位とする。

13 表彰について

- (1) 各競技種目第6位まで表彰する。入賞者(1～6位)は、競技終了後直ちに入賞者控え室に移動し待機すること。表彰はユニホームで行う。他の競技時刻と重なる場合は代理人をたてること。
- (2) 学校対校における総合の部の表彰は、男子、女子ともに6位までとする。
- (3) トラック競技およびフィールド競技の部の表彰は、男子、女子ともに3位までとする。

14 応援について

応援は各競技の進行状況をよく確認し、競技者に迷惑にならないようマナーを守るとともに特に下記の点について留意する。

- (1) メインスタンドでの集団応援を禁止する。集団応援は芝スタンドのみとする。
- (2) 太鼓、笛等の鳴物等を利用した応援は一切認めない。
- (3) トラック競技においては、競技種目並びに出場競技者を紹介するアナウンスがあり次第、応援を自粛し静粛にする。
- (4) フィールド競技においては、試技を開始しようとしている競技者がいる時は応援を自粛する。特に、バックスタンド側の跳躍ピットで競技が行われている際は、バックスタンドでの集団応援は禁止とする。
- (5) トラック競技とフィールド競技が同時進行で実施されている場合は、特にフィールド競技に出場している競技者に配慮して応援する。
- (6) メインスタンドへの出入口近辺、およびメインスタンドの通路、並びにスタンド周囲の最前列にある手すり近辺に立っての観戦および応援は、観客の迷惑になるので禁止する。
- (7) コーチングエリアの立ち入りは、各校顧問・コーチを優先すること。

15 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主催者は個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し、個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査・プログラム編成および作成・記録発表・公式ホームページ・その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (2) 大会の映像・写真・記事・記録等は、主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラムやポスター等の宣伝材料・テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

16 その他

- (1) 救急、救護に関する処置は、メインスタンド下の医務室で応急処置のみ行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。また、アイシングで使用する氷は各校で準備すること。
- (2) 各校のテントの設営は、メインスタンド以外(陸上競技場周辺の芝生部分)はテント設営が可能。通路を妨げる設営、フェンスにロープを結びつけての設営はやめてください。競技終了後は、毎日たたんで下さい。フレームは、風で飛ばされないように、固定してお帰りください。敷いてあるシートは芝生保護のために毎日撤収してください。
- (3) 横断幕・のぼり等は、メインスタンドに設置しないでください。サイドスタンド及びバックスタンドを利用して設置してください。フェンスに取り付けられる横断幕は、1校1枚とする。個人の競技者名の入った横断幕等の掲示は認めない。競技終了後は、毎日撤収してください。
- (4) 競技場内の更衣室を使用してもよい。ただし、敷物等を利用して休憩場所としての使用は認めない。
- (5) 届けられた遺失物については、大会庶務係で保管する。保管期限は、競技終了までとする。
- (6) 置き引き、盗難等の発生する恐れがあるので、各自持ち物および貴重品等の管理には十分に注意する。
- (7) 招集所からスタート地点への移動は、原則としてスタンドの外を通ること。メインスタンドの前は、絶対に通らないこと。
- (8) 大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

練習会場使用日程

【主陸上競技場】

| | 大会1日目 | 大会2日目 | 大会3日目 | 大会4日目 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| トラック | 6:30～8:20 | 7:00～9:00 | 7:00～9:00 | 7:00～9:00 |
| 跳躍 | 6:30～8:20 | 7:00～8:30 | 7:00～8:30 | 7:00～8:30 |
| 投てき | × | × | × | × |

・主競技場のレーンの使用区分は、以下の通りとする。

- ①周回1・2レーンは、中長距離ならびに競歩、タイムトライアル用。
- ②周回3・4・5・6レーンはリレーのバトンパスを含めた短距離。
- ③第1曲走路からバック走路7・8レーンは400m H（7レーンは女子、8レーンは男子）。
- ④ホームストレート7レーンは、100m H、8レーンは110m H。
- ⑤投てき種目については、投てき用具を持ちこまなければ助走やターンの練習は許可する。

【補助競技場】(300m)

| | 大会1日目 | 大会2日目 | 大会3日目 | 大会4日目 |
|------|------------|------------|------------|------------|
| トラック | 7:00～17:00 | 7:00～17:00 | 7:00～17:00 | 7:00～14:00 |
| 跳躍 | 7:00～17:00 | 7:00～17:00 | 7:00～17:00 | 7:00～14:00 |
| 投てき | × | × | × | × |

※投てき種目については、練習を禁止する。

・補助競技場のレーンの使用区分は、主競技場に準ずるものとする。

【投てき練習場】

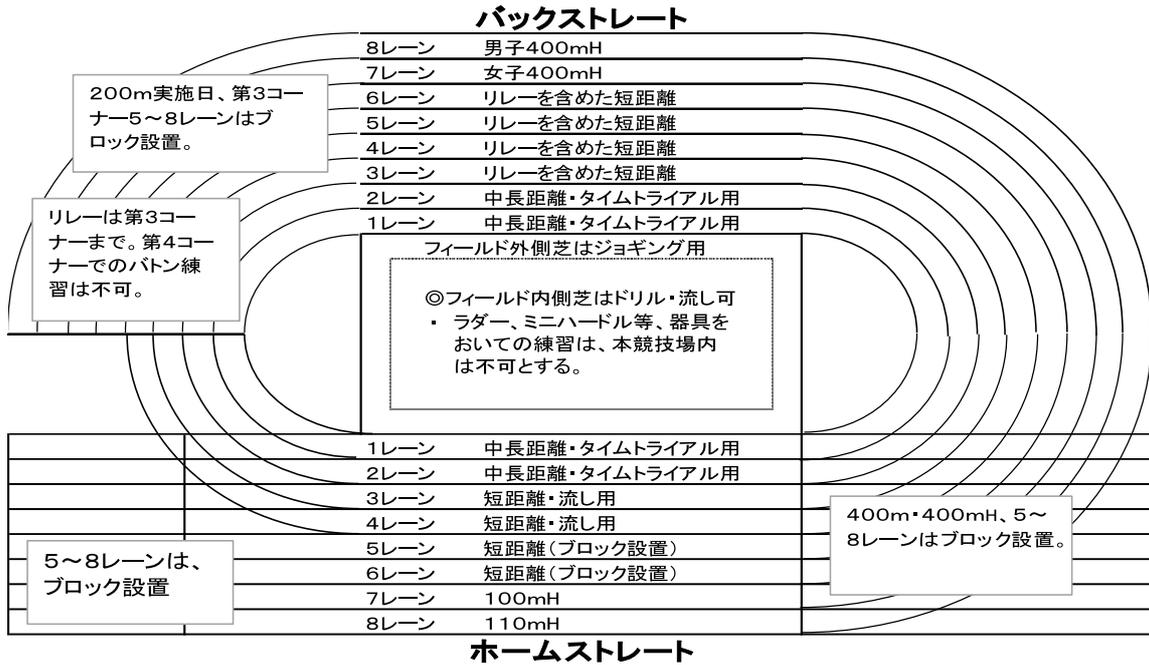
| | 大会1日目 | 大会2日目 | 大会3日目 | 大会4日目 |
|-------|------------------------------|-------------------------------|--------------|--------------|
| 砲丸投 | 7:00～17:00 | 7:00～17:00 | 7:00～17:00 | × |
| 円盤投 | 9:00～13:00 14:00～17:00 | 10:00～15:00 ※女 11:00～14:00 | 男 9:00～17:00 | 男 7:00～9:00 |
| やり投 | 9:00～13:00 | 7:00～10:00 15:00～17:00 | 7:00～17:00 | 女 9:00～12:00 |
| ハンマー投 | 男 7:00～9:00 女 13:00～14:00 | × | × | × |

【練習会場での注意事項】

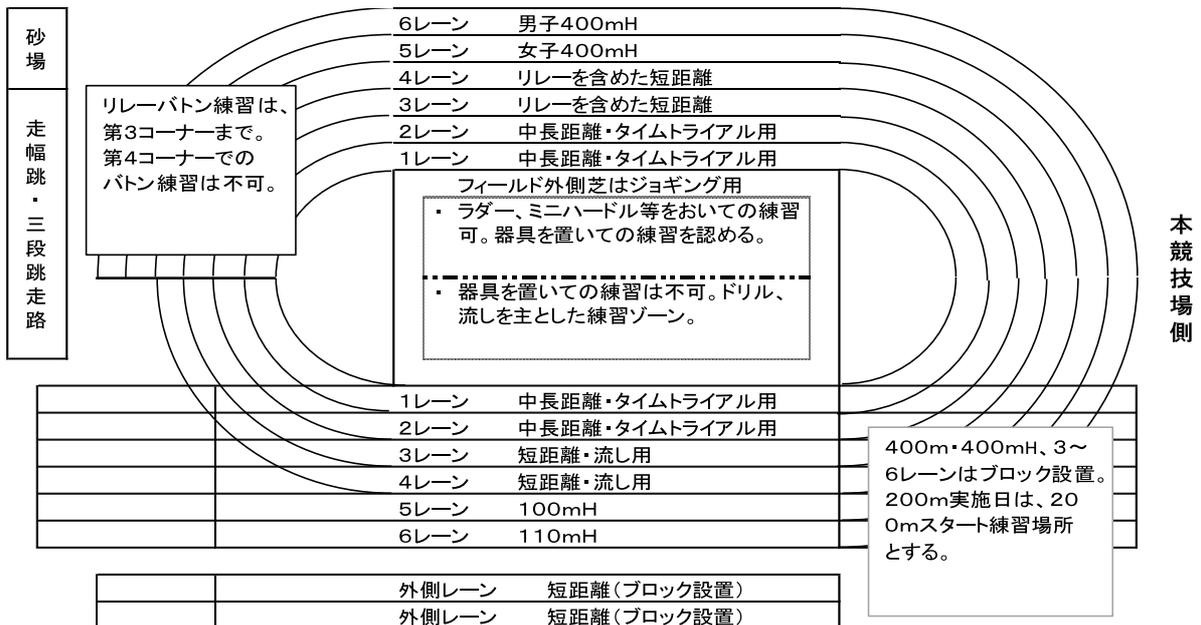
- 1 練習は指定された練習会場で、各校顧問の立ち会い・責任のもと、上記の指定された時間で行うこと。
- 2 練習会場には、選手、顧問・コーチ以外立ち入らないこと。
- 3 練習会場、特に投てき練習場では危険が伴うので、十分注意して行うこと。
 - ・レーンを横切る際は、前後左右を確認し、安全に留意する。
 - ・投てき練習の際は、安全を確認してから、投げること。
- 4 トラック競技およびフィールド競技において、代理人による順番待ちを禁止する。
- 5 各練習会場のトラックにおいて次の行為を禁止する。
 - ①ミニハードルなどの練習用具を設置して行う練習（補助競技場の指定場所可）。
 - ②チューブやロープで牽引する練習。
 - ③逆走。
 - ④ジョグ、準備運動、ドリル等の技術練習。
 - ⑤急に減速したり、立ち止まったりする行為。
 - ⑥不用意にトラックを横切る行為。
- 6 全天候舗装の走路は、9mm以下のスパイクを使用すること。ただし、走り高跳び・やり投については12mm以下とする。
- 7 練習会場において、全日程を通して競技の終了した種目の用器具は準備しない。
- 8 主競技場のメインスタンド下中央通路での練習は禁止する。
- 9 使用した器具は、きちんと片付けること。

【練習会場図】

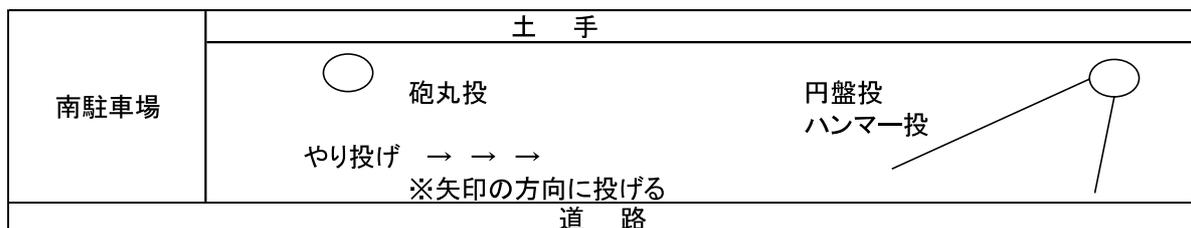
1 主陸上競技場練習



2 補助競技場 (300m)



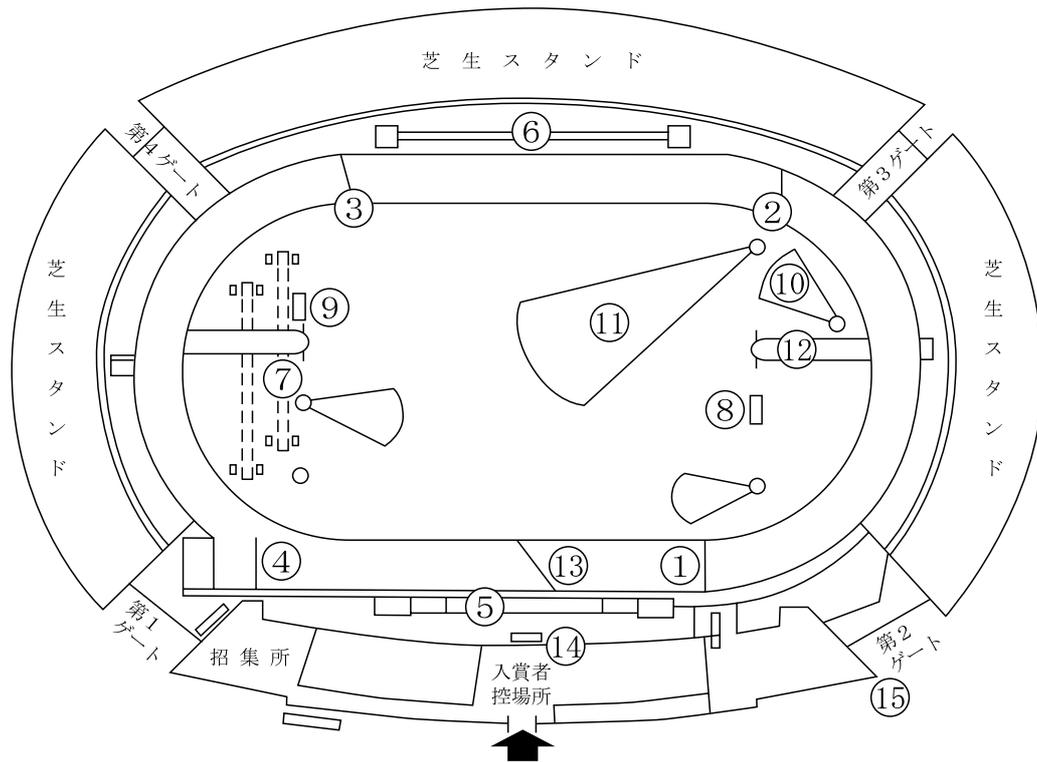
3 投てき練習場



青森県総合運動公園投てき用具リスト

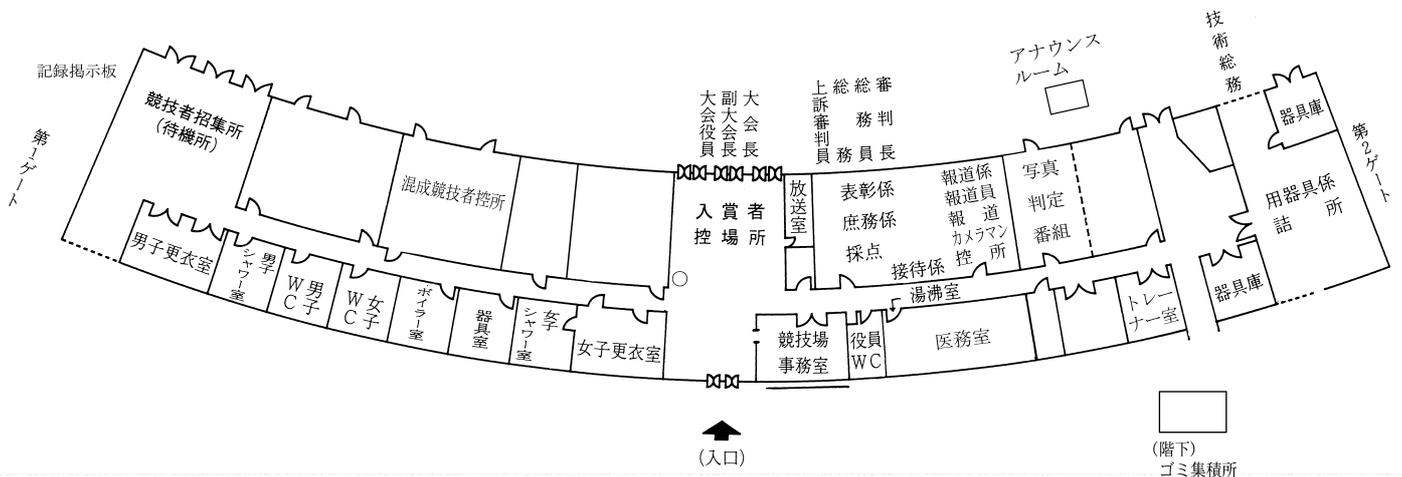
| 男・女 | 用具・器具名 | 仕様・規格 | | | | 数量 |
|-----|--------|--------|---------|------------------|--------|----|
| 男子 | 砲丸 | ニシ | 6.0 kg | φ 120.0 | 鉄 | 7 |
| | | ニシ | 6.0 kg | φ 117.0 | 鉄 | 5 |
| 女子 | 砲丸 | ニシ | 4.0 kg | φ 103.0 | 鉄 | 5 |
| | | ニシ | 4.0 kg | φ 99.0 | 鉄 | 1 |
| 男子 | 円盤 | ニシ | 1.75 kg | スーパー HM | | 6 |
| | | ニシ | 1.75 kg | スーパー (シェル黒色) | | 5 |
| 女子 | 円盤 | ニシ | 1.0 kg | スーパー | | 12 |
| 男子 | ハンマー | ニシ | 6.0 kg | φ 116.0 | 鉄 | 6 |
| | | ニシ | 6.0 kg | φ 105.0 | ダングステン | 6 |
| 女子 | ハンマー | ニシ | 4.0 kg | φ 102.0 | 鉄 | 8 |
| | | ニシ | 4.0 kg | φ 96.0 | ダグタイル | 4 |
| 男子 | やり | ニシ | 800.0 g | スーパー DR 80m~90m | | 5 |
| | | ニシ | 800.0 g | スーパー 80m | | 2 |
| | | ニシ | 800.0 g | ロング DR 60m~70m | | 5 |
| | | ニシ | 800.0 g | ロング 70m | | 2 |
| | | ニシ | 800.0 g | ミディアム DR 50m~60m | | 2 |
| | | ニシ | 800.0 g | ミディアム 60m | | 3 |
| | | ノルディック | 800.0 g | スーパーエリート 80m | | 2 |
| 女子 | やり | ニシ | 600.0 g | スーパー DR 55m~65m | | 4 |
| | | ニシ | 600.0 g | ロング DR 45m~55m | | 3 |
| | | ニシ | 600.0 g | ミディアム DR 30m~45m | | 4 |
| | | ニシ | 600.0 g | ミディアム 50m | | 2 |
| | | ノルディック | 600.0 g | ダイアナ 70m | | 2 |

陸上競技場平面図



- | | |
|--|-----------------------|
| ①フィニッシュライン | ⑥⑦棒高跳 |
| ①400m、800m、400m H、 4×100m R、4×400m R スタート | ⑧走高跳 Aピット / ⑨走高跳 Bピット |
| ②1500m、2000m S C スタート | ⑩砲丸投 |
| ③200m、3000m、5000m、5000m W スタート | ⑪ハンマー投・円盤投 |
| ④100m、100m H、110m H スタート | ⑫やり投 |
| ⑤走幅跳、三段跳 Aピット | ⑬3000m S C スタート |
| ⑥走幅跳、三段跳 B・Cピット | ⑭表彰台 |
| | ⑮記録掲示 |

メインスタンド部屋割図



駐車場について

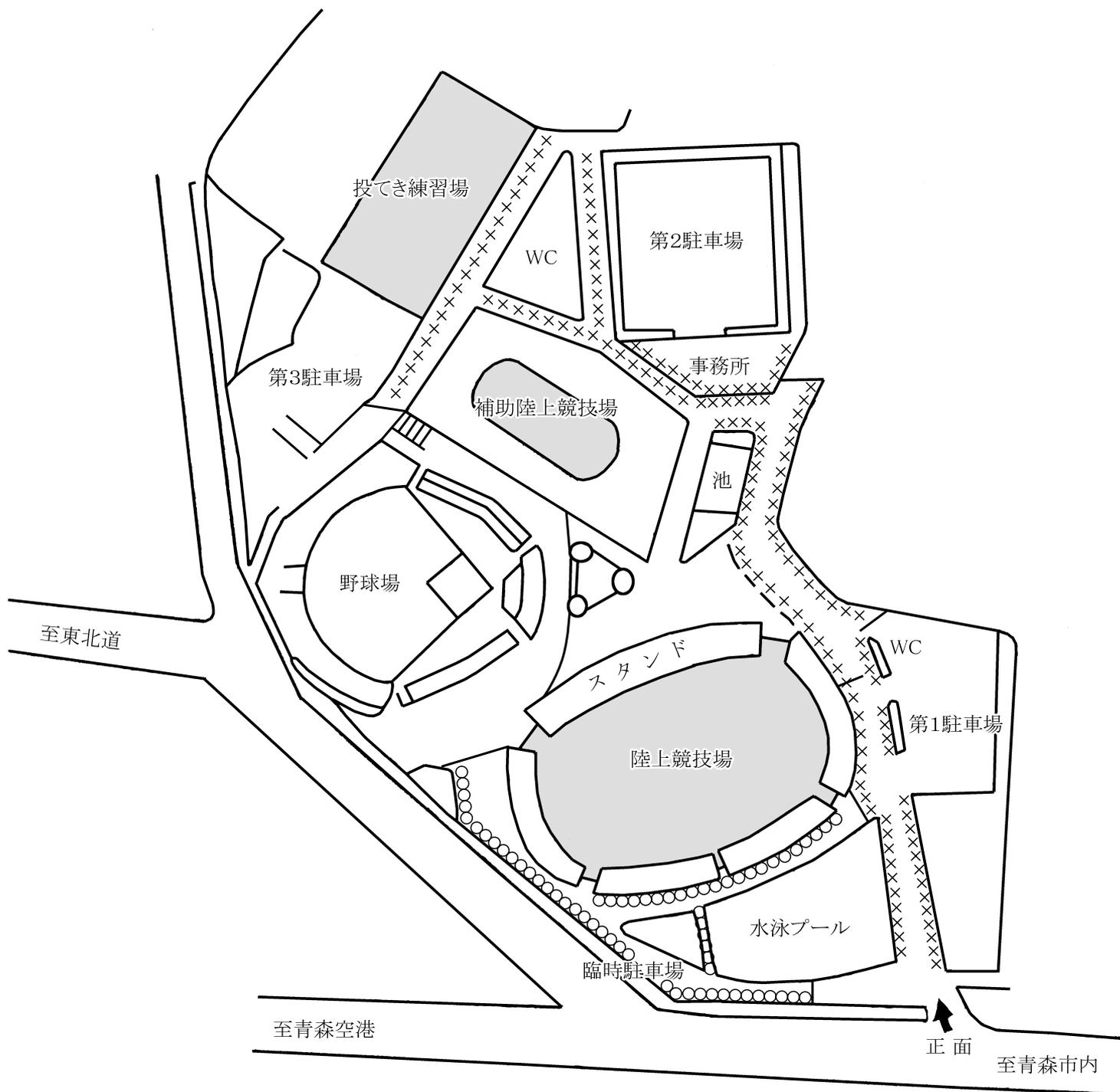
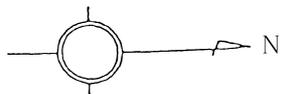
◎大型バス・マイクロバスは全て第1駐車場へ。

◎普通車は第1駐車場・第2駐車場及び○印駐車帯へ。

◎×印及び緑地帯への駐車は禁止とします。

◎第3駐車場についてはまだ使用できません。

● ×印の道路上には絶対に駐車しないように御協力下さい。



高等学校総合体育大会陸上競技大会

＜競技場使用についての注意事項＞

1 競技場使用時間について

- (1) 大会開催期間中の開門は、1日目6時30分、2日目からは7時00分とします。
- (2) 閉門は、3日目までは18時00分、最終日は全日程終了時刻とします。
- (3) 大会前日からの、テントの設営は禁止とします。

※使用時間を厳守してください。また、フェンスを乗り越えての入場はやめてください。

2 競技場・補助競技場の使用について

- (1) 競技場・補助競技場での練習の際は、安全に留意し、各校の顧問の責任において練習を行ってください。

3 各校の控え場所・横断幕・のぼりについて

- (1) 26年度高校総体より、各校にテントの設営場所を指定しました。各校譲り合い、テントの設営をお願いします。更衣室を控え室としての使用は禁止します。
- (2) テントの設営場所は、陸上競技場周辺の芝生部分（メインスタンドは最上段のみ可）は、テント設営が可能です。サブトラックには、テントを設営しないで下さい。テントを設営する際は、風で飛ばされないようにしっかり固定してください。手すりには、ロープを結ばないようにお願いします。競技終了後、テント・ブルーシートは、芝生保護のため毎日撤収してください。
- (3) 横断幕は1校1枚をお願いします。のぼりは県内大会では現在規制していませんが、東北大会ではフェンスに設置できる本数は、1校2本までの県もあります。

4 競技用具について

- (1) 競技用具は、用具庫から勝手に持ち出さないでください。
- (2) 用具借用については、用具係の指示に従い借用してください。
- (3) 用具を返納する場合は、出したときの数（個数）が一致するよう確認してから返却してください。また、用具の又貸しはしてはいけません。
- (4) 用器具が破損したときは、必ず用具係に申し出てください。

5 駐車場について

- (1) 指定されている駐車場に駐車してください。
 - ・マイクロバスは、すべて第1駐車場へ。
 - ・乗用車は、競技場裏側臨時駐車場及び第1駐車場と第2駐車場へ
 - ・駐車場見取り図を参考に駐車してください。
 - ・公園内○印指定場所は駐車可、公園内×印道路は駐車禁止。

6 貴重品の管理について

- (1) 貴重品の管理は、各校の責任で十分注意してください。

7 ゴミ処理について

- (1) ゴミは、各校（各自）でゴミ袋を準備し、持ち帰ることを原則とします。ただし、最終日のみ下記に従い処理をすることができる。
 - ① ゴミについては、燃やせるゴミ（ペットボトル含む）と燃やせないゴミに分別し、各校で準備したゴミ袋に入れて袋の口をしっかり結び、ゴミを処理することができる。
 - ② ゴミ置き場は、正面スタンド外南側階段下にあります。
 - ③ ゴミは最終競技終了後、30分以内に所定の場所に置いてください。